

お店の身近さ、たんぱく質摂取量と関連
— 中山間地域において食環境を考慮することの重要性を示唆 —

2021/2/24

【プレスリリース】

概要とポイント

- 居住環境を考慮した食の支援が求められる中で、高齢者の健康に重要なたんぱく質摂取と中山間地域の食環境の関連性を検討した研究は存在しませんでした。
- 我々は中山間地域である島根県雲南市を対象に調査を行い、近隣食環境とたんぱく質摂取量との関連性を検討しました。
- その結果、自宅がコンビニエンスストアから遠いほどたんぱく質の少ない摂取量に有意な関連性がありました。
- また、近隣 400m にバス停がないことはたんぱく質の少ない摂取量に有意に関連していました。
- この研究は、初めて中山間地域における近隣食環境とたんぱく質摂取量の関連性を報告しました。
- 中山間地域在住高齢者のたんぱく質摂取の促進を目的とするアプローチには、コンビニやバス停との関連から見るアクセシビリティ(近接性)に配慮した支援策の構築が必要であることが示唆されました。

主要結果の表 たんぱく質摂取量とスーパーマーケット及びコンビニエンスストアまでの距離との関連

n= 942	スーパーマーケット	コンビニエンスストア
	PR ^{†‡} 95% CI [§]	PR ^{†‡} 95% CI [§]
店舗までの距離		
500m未満	1 (ref.)	1 (ref.)
500m - 999m	0.65 (0.31-1.27)	1.18 (0.55-2.26)
1000 - 2999m	0.78 (0.44-1.30)	1.26 (0.63-2.27)
3000m以上	0.96 (0.57-1.50)	1.62 (0.86-2.73)
P for trend	0.433	0.028*

[†] 性別, 年齢, Body mass index, 現病歴, うつ症状, 認知機能障害, 喫煙習慣, 運動習慣, 自動車運転免許状態, 400m圏内の駅の有無, 400m圏内のバス停の有無で調整した。

[‡] Prevalence ratio: 二項ロジスティック回帰分析で算出したオッズ比を補正し求めた。

[§] 95% 信頼区間 ^{||} 二項ロジスティック回帰分析にて算出した。 * p< 0.05

論文掲載情報

この論文は、栄養学雑誌(79 巻 1 号 3-13 ページ)に掲載されています。

公開日 : 2021 年 2 月 24 日(水)

詳しくはこちらをご覧ください(プレスリリース本文)



身体教育医学研究所うなん

TEL:0854-49-9050

<https://www.shintai-unnan.com/>